

沖縄平和行進 感想文

全港湾関東地方 鹿島港支部
青年婦人部長 明智佑介

今回、2回目となる沖縄平和行進に参加し、改めて平和の大切さや沖縄が抱える基地問題について深く考える機会となりました。行進中には戦闘機が着陸する際の大きな騒音を実際に体感し、地域住民の方々が日常的に抱えている負担を少しではありますが感じることができました。実際に現地を訪れ、自分の目で見て感じることで、ニュースや資料だけでは分からない現状を知ることができたと思います。

また、ひめゆりの塔や沖縄県平和祈念資料館、海軍防空壕を見学し、沖縄戦の悲惨さや当時の人々の苦しみについて学びました。改めて資料や証言に触れることで、戦争の恐ろしさと平和の尊さを強く実感し、戦争の記憶を風化させてはいけないと感じました。

戦争を知らない世代だからこそ、こうした活動を通して学び続け、平和について考え続けることが大切だと思います。今後も沖縄の現状について関心を持ち、自分の地元でも今回学んだことを伝えていきたいです。さらに、沖縄支部の皆様には空港でのお出迎えから行進の先導、交流会など温かく迎えていただき、本当にありがとうございました。